

令和3年4月2日

各位

「Children First の子ども行政のあり方勉強会」
菅義偉内閣総理大臣への提言申入れのご報告

Children First の子ども行政のあり方勉強会
共同事務局 山田太郎 自見はなこ

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本勉強会の活動に格別のご高配を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、2月2日に発足した本勉強会では、計7回のヒアリングを行うとともに、ウェブアンケートも実施し、17,458名から計48,052件の意見が寄せられました。これらを踏まえて、3月16日に取りまとめた政府への提言では、

- ①専任の所管大臣によって率いられる「こども庁」の創設
- ②子ども・子育て関係支出の対GDP比を倍増
- ③行政の縦割りを克服し府省庁横断の一貫性を確保するため、「こども庁」には総合調整、政策立案、政策遂行の強い権限をもたせる

以上を柱に、子どもの医療・保健・療育・福祉・教育を一元的に所管する「こども庁」創設を求めています。

4月1日朝、菅義偉内閣総理大臣に提言申し入れを行いましたので、ご報告申し上げます。菅総理大臣からも、3月21日の第88回自民党大会で「私自身なんとしても進めたいのが未来を担う子供たちのための政策です。これはまさに政治の役割だと思っています。子供が生まれ、育ち、学んでいく。その1つ1つに光を当てて前に進めていきます」と演説した際、原稿を頂き、「こども庁」実現について強い決意を示され、前向きで力強いお言葉をいただきました。同日中に、自民党総裁直属の機関で「こども庁」設立を検討することが決まり、大きな一歩を踏み出すことができました。

「こども庁」特設サイトも公開致しましたので、ご高覧頂けましたら幸いに存じます。 <https://www.child-department.jp/>

これまでのご厚情に感謝申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。



敬具

◀ 4月1日
木原誠二衆議院議員、牧原秀樹衆議院議員とともに、総理大臣官邸にて菅義偉総理大臣に提言申入れ